

令和2年度 伊吹山三合目の環境保全活動等の結果報告

令和3年2月2日

ユウスゲと貴重植物を守り育てる会

1 伊吹山三合目保全活動の内容

(1)活動日および参加者

3月15日~11月26日 (基本活動は、毎週日曜 8:30~12:00)

活動日数 53日 (R1:47日)

のべ参加者 194人 (R1:136人) 前年比 +58人 143%

2 主な保全活動の結果

(1) 獣害防止ネット内の活動

①3月15日、22日に獣害防止ネットを引き上げ設置。(昨年度少雪のため1週間早く実施)

②4月以降の週1回のネット点検・補修。

→小さなネットの破れはほぼ毎回確認でき、毎週の確認は不可欠。

③ネット内の保全作業は、5月連休明けから実施。

主に、ネット内のワラビ、スイバ、ススキ等の刈取り・抜き取り、ネットの際(手作業)や観察路(草刈り機)の草刈り等整備を実施。

→今年度はユウスゲの開花は昨年より多く、開花期間も比較的長かった。アブラムシの発生も少なかった。

・ネット内では多くの花が咲き、ササユリやマイサギソウなども株数増加。ネットの際もハクサンフウロ、ニリンソウをはじめ多くの花が登山道からも楽しめた。ただし、ネット西側のセンブリは無くなった(盗掘?)。

④カタクリネットの出入り口を新規設置。(登山道脇、高屋の2か所)

→カタクリ群落広がり、登山者にも親しまれた。

→ただし、カタクリの時期以降の維持管理不十分で、秋にアキチョウジなどに食害発生。

⑤秋に広く刈り取ったススキは、1か月程度乾燥させてからネット外へ搬出。

【ネット内の植物保全の考え方】

三合目はいろんな花々が自然な状態で咲き続けることが大きな魅力。ネット内は、全国的にも希少なユウスゲ群落は別にして、特定の花に特化した保護を目指すのではなく、可能な範囲内でのススキやササの除去・刈取り等により、多様で自然な植生回復を目指す。



ネット引き上げ

2020.3.15



ネットの破れ→結束バンドで補修

2020.5.17



観察路の
草刈り



ネット外
の草刈り

2020.10.4



ユウスゲ
の群落

2020.7.31



ササユリ

2020.6.21

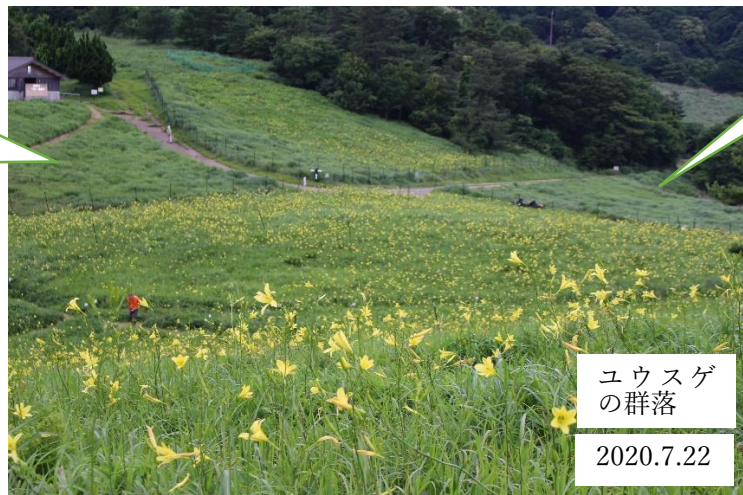
(2) 獣害防止ネットの外側

- ・イブキトリカブト、ヒオウギ、メタカラコウ、クララ、オドリコソウ、イブキジャコウソウ、ホタルカズラ、各種スマレ等のニホンジカの忌避植物などを除き、花の種類が激減。
伊吹山特産種のイブキコゴメグサも最近確認できない。
- ・金属柵の設置予定エリアは、ほぼ全域で全面刈りができた。

【ネット外側の植物保全の考え方】

ネット外側のうち、今後設置予定の金属柵設置予定のエリア内は、設置後早期に植物が復活できるよう、ススキの全面刈りは引き続き行う。

ネット外
側で花咲
かず



ユウスゲ
の群落

2020.7.22

ここもネ
ット外側
で花なし

(3) 高屋エリア（三合目西側の小高い丘あたり）

- ・4月～5月は、ネット内ではカタクリ、ネット外でもイブキスマレ、エイザンスミレの開花は多かった。
- ・ただし、初夏以降は、シカの食害で花の開花も少なくなった。近年、サイハイラン、ヒメニラ、ツルニンジンなども確認できなかった。

【高屋エリアの植物保全の考え方】

金属柵の外側となるが、希少な花も多いため限られたできる範囲で効果的な植物保全に努める。

2 植物観察会

(1) 実施結果

4月以降毎月の開催を予定したが、新型コロナウイルスのため、ユウスゲ開花時以外は中止。
→7月19日開催 参加者14人（密を避けるため、前年参加者のみに呼びかけて実施）

(2) 令和3年度の予定

- ・新型コロナウイルス感染症の状況を見て判断。
- ・「花の説明板」の更新と、ガイドの育成のため毎月保全作業終了後に花の勉強会を実施予定。

3 ユウスゲまつり

新型コロナウイルスのため、中止。（予定：7月23日（海の日））

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の状況を見て判断。

4 学校の環境学習への対応

(1) 伊吹小学校 11月20日 いぶきフェスティバルで低学年に「伊吹山ってすごい！でも、たいへんですよ。」、高学年に「伊吹山の魅力と課題」を説明。

(2) 春照小学校 9月24日 6年生に伊吹山登山事前学習会で「伊吹山の魅力と課題」を説明
9月29日 6年生の伊吹山登山ガイド

5 情報チラシ「伊吹山花だより」の発行

- ・4月～9月に毎月発行。（通算46～51号）
A4両面カラー印刷
1,500枚印刷し、地元上野区全戸、市内の公共施設、伊吹山インフォメーションセンターに配置。
- ・米原市ホームページにPDF形式で令和2年4月から掲載



6 会員の状況

会員数 17名（前年比 +3名）

（会長）高橋滝治郎 （副会長）堀江寛